

藤沢市 令和2年度事務事業評価シート簡易版(令和元年度分)

No. 1

事務事業名	公共建築関係費										担当課	部課名	計画建築部公共建築課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	01	細目	006	説明	01	課等の長	福島 正也	電話	4240

1. 事業概要

事業開始年度	平成 12 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	①事業課からの工事等委託通知書により, 設計及び工事発注・工事監理の受託業務を行う。 ②事業課からの依頼により, 工事等に関連する技術協力を行う。 ③公共建築物の改修工事等の設計を適切に行うため, 前年度完成工事図面を電子データ化し整備する。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等							
事業実施内容	1 庁内各課から委託された公共建築物の設計、積算及び工事監理、建築物の調査 工事件数 88件(内訳:建築工事31件、電気設備工事9件、機械設備工事17件、委託19件、技術協力・支援12件) 2 建築物の調査及び公共建築物台帳の作成 公共建築物台帳 699枚(内訳:A1 103枚、A2 596枚)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先:株式会社 東海コピーサービス) (委託等内容:工事図面のデータ化) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金:一般社団法人公共建築協会等) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 9,144 千円	事業費節別内訳		主な事業内容										
		費目	支出済額(千円)											
		旅費	160 千円		講習会参加旅費及び視察・打合せ等経常旅費									
		需用費	2,460 千円		用紙・インク代・参考図書等, 青焼き代									
		委託料	366 千円		設計図面の整理(工事図面電子データ化)の委託料									
財源内訳	R元年度 支出済額 9,144 千円	事業費節別財源内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>34.18</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34.68</td> </tr> </table> ※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員		令和元年度	正規職員等	34.18	再任用短時・任期付短時職員	0.50	非常勤職員	0.00	合計	34.68
			令和元年度											
		正規職員等	34.18											
		再任用短時・任期付短時職員	0.50											
		非常勤職員	0.00											
合計	34.68													
分担金・負担金														
使用料・手数料														
国庫支出金														
県支出金														
その他 ()														
一般財源	9,144 千円													

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	401,088	347,396	332,287	345,147			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	387,341	363,185	342,190	344,308			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	9,053	9,117	8,985	9,144			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	378,288	354,068	333,205	335,164			
	①職員給与合計(常勤)	357,598	337,953	317,253	315,419			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	20,690	16,115	15,952	19,745			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	13,747	-15,789	-9,903	839			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	13,747	-15,789	-9,903	839			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	943.50	425,105	812.62	427,501	773.99	429,317	797.00	433,060

成果実績	指標名	設計及び工事監理等	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績		134	単位	74	単位	82	単位	88	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	事業課より発注される委託工事の為、目標設定が困難である									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			2,993,194.03	4,694,540.54	4,052,280.49	3,922,125.00					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	受託課である公共建築課が設計業務及び工事を執行するに当たっては、事業主体である委託課から「設計への要望事項」、「事業を進める際の課題」などを確認し、設計・工事の円滑な進捗に向け、委託課と課題を共有するなど、スムーズな整理・調整が必要である。 工事発注時期の平準化に向けての取組みは引き続き必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	委託課の事業課題等に対する調整・整理について、公共建築課としても課題を共有し、技術的な側面などから、課題等の解決に向け柔軟な対応を心掛け、積極的に参画していく。 工事発注の平準化については、前年度から設計を進めるなど、様々な取り組みを検証していく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	委託課等との調整については、工事発注時・予算見積り時・その他相談など、柔軟な対応を心掛け、コミュニケーションをとりながら進めている。 工事発注の平準化の観点においては、委託課との調整を行いながら前年度中に先行設計を行うことで、新年度当初の発注工事集中化の緩和となり、少しずつではあるが担当者負担軽減の一助となっている。
今後の方針	<p>事業の方向性 現状維持</p> <p>公共建築課として、年間工事予定の他、緊急工事や突発的な特定財源を使用する工事の対応など、限られた時間内に的確に委託課の意向に沿った設計ができる技術力が必要である。 委託課の意向に沿うためにも、課内全体の技術力アップを今後も目指していく。 委託課からの予算要求に向けた相談等についても、積極的に参画できるよう取り組んでいくもの。</p>

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	各課より依頼される工事等の予算見積りに関すること	無	無		3
2	各課より依頼される工事等の発注手続きに関すること	無	無	2	3
3	各課より依頼される工事等の設計図書の作成に関すること	無	無	3	3
4	各課より依頼される工事等の監理・監督に関すること	無	無	3	3
5	各課より依頼される工事等の技術協力に関すること	無	無	3	3
6	各課より相談される建物・設備の不具合の対処方法に関すること	無	無	2	3
7	各課より依頼されて竣工した建物情報に関すること	無	無		1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	計画建築部	氏名	奈良 文彦	確認日	2020/9/10
----	-------	----	-------	-----	-----------